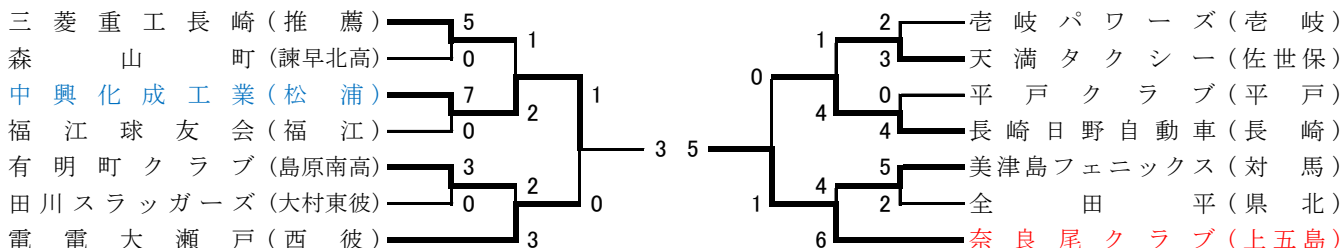


# 決勝戦初登場の奈良尾と中興化成は奈良尾が離島勢初V

## 第28回長崎県軟式野球選手権大会

会期 昭和53年10月20日(金)～22日(日)  
会場 A:大橋球場 B:三菱球場



第28回県軟式野球選手権大会は20日大橋球場と三菱球場で前年度優勝し推薦出場の三菱重工長崎造船所をはじめ各地区予選を勝ち抜いた代表14チームが出場し三日間にわたる大会の幕を開けた。今年の天皇賜杯全国大会で準決勝に進出した親和銀行が国体出場の関係で不参加したのは寂しい。

大橋球場で開会式が行われ前年度優勝の三菱重工から優勝旗と盾が、準優勝の有明町クラブから準優勝旗が返還され、三菱重工の上内秀一主将が力強く選手宣誓した。

大橋球場で三菱重工ー森山町、中興化成工業ー福江球友会、有明町クラブー田川スラッガーズ、パワーズー天満タクシーの一回戦5試合。三菱球場で美津島フェニックスー全田平の同1試合が行われた。平戸ー日野戦では日野の中村郁投手が七回ながら完全試合を達成した。中村郁投手は試合後、「3回位からベンチで話題になった。体調もよかったしストライク



を取りにいくカーブの制球がよく早いカウントで打者を追い込んだためボール球に手を出してもらった。パーフェクトはうれしいですね」と喜びを語った。

(昭和53年10月21日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

### 【三菱】打安点

⑦上内	200
H豊田	100
9中村	000
④桜木	310
⑥1川上	320
⑤橋本	200
⑦7奥園	100
⑧井上	311
②増永	001
H2井戸口	100
③6吉田	410
①大村	101
3岩崎	200

23 5 3

## 三菱、好機を生かす 森山守備の乱れに泣く

【一回戦】=大橋：第1試合= 振球犠盗残失

三菱重工長崎	011 012 0	5	6	11	3	6	11	0
森山町	000 000 0	0	6	0	0	0	1	3

【三】井上  
【二】吉田

【評】優勝候補の三菱が相手投手の制球難や守備の乱れなどに乗じてチャンスをものにし順当勝ちした。三菱は二回、この回先頭の井上がいきなり右越三塁打を放ち、続く増永も四球で出塁し二盗。一死後に大村が投前に転がし井上が生還して1点を先制。

三回には制球に苦しむ早田から4四球を選んで1点追加。その後も着実に加点した。

一方、森山町は三菱の先発・大村、二人目の川上を打ちあぐみ、1回に佐藤が放った中前打1本に抑えられ完封負けを喫した。

### 【森山町】打安点

⑥山口	300
⑤佐藤	310
②四ツ橋	300
①早田	300
⑦陣野	200
⑧林田	200
③高名	200
⑨土肥	200
④杉山	200

22 1 0

### 【福江】打安点

⑧西川	200
⑤田端	200
⑥岩下	210
⑨中村	210
④田中	200
③才津	200
②市村	200
①今村	200
⑦畑中	100

17 2 0

## 中興、初回到猛攻

【一回戦】=大橋：第2試合= 振球犠盗残失

福江球友会	000 00	0	4	1	0	1	3	3
中興化成工業	301 03x	7	2	3	0	1	3	0

(5回コールド)  
【二】岩本、吉田

【評】中興は初回到今村の立ち上がりをとらえ4安打や敵失などで3点を奪い、三回にも1点を追加した。2番から始まる好打順の五回には先頭の田淵が死球。永利の左前打で三塁を欲張って封殺されたが岩本と吉田の連続二塁打で2点。さらに四球と安打の満塁に、田川の三ゴロ悪送球の間に吉田が還って7点目をあげコールド勝ちした。

### 【中興】打安点

③福島	300
⑧田淵	110
⑤永利	320
①岩本	321
⑥吉田	333
⑨国生	211
⑦尾野	310
②田川	300
④志水	200

23 10 5

# 有明、2回に先制 田川 終回の反撃及ばず

【田川】打安点

②川井	3 1 0
⑧佐藤	3 0 0
⑥本下	3 0 0
④今道	3 0 0
⑨島田	3 2 0
⑦原	3 0 0
③鶴	3 1 0
①金谷	2 0 0
⑤田中	2 0 0

【一回戦】=大橋：第3試合= 振球犠盗残失

田川スラッガーズ	000 000 0	0	7	0	0	0	4	4
有明町クラブ	010 002 X	3	2	1	0	4	4	0

【三】吉田正 島田

【評】二回の攻防が試合の明暗を分けた。田川が一死一塁の先制機を逸した後、有明は松本が右飛失で出塁し二盗、吉田正の左翼越え二塁打で1点先取した。

その後は投手戦となったが有明は六回に再び追加点の機会を得、先頭の金子が敵失で生きると二盗を決め続く竹之内、吉田朝、松本の3連打でダメ押ししの2点をあげた。

田川も最終回一死から島田が左翼席にワンバウンドで入る二塁打を放ち反撃機を迎えたが続く二人が連続三振に倒れた。



ダメ押し 6回裏、有明は無死二三塁で松本が左前打を放ち、三塁から竹之内生還し3点目

25 4 0

【有明町】打安点

⑦吉田浩	3 0 0
①金子	2 0 0
⑤竹之内	3 2 0
⑨吉田朝	3 1 0
⑥松本	3 1 1
⑧吉田正	3 1 1
③高見	2 0 0
H3河内	1 0 0
④谷川	1 0 0
H4長野	1 0 0
②中島	2 0 0

24 5 2

【天満】打安点

⑤山田	1 0 0
②石井	3 1 1
⑦高橋	3 0 0
③東賢	2 0 1
⑥下村	3 0 0
⑧阿比留	3 0 0
⑨山川	3 1 0
④岩橋	2 0 0
1田崎	1 0 0
①原田	1 0 0
H4道上	2 0 0

24 2 2

## 天満が好継投 パワースチャンスに不発

【一回戦】=大橋：第4試合= 振球犠盗残失 【二】石井 久田2 市岡

天満タクシー	100 110 0	3	7	3	1	2	4	1
壱岐パワーズ	100 100 0	2	6	3	1	2	3	5

【評】1点を争うシーソーゲームを天満が原田、田崎の継投で逃げ切った。同点で迎えた五回、天満は二死からトップの山田が四球で出塁、続く中堅右へ二塁打を放ち、や手の返球がそれる間に山田が還って貴重な1点をあげた。

パワーズもその裏、一死三塁の同点機を迎えたが、走者が三塁手の隠し球でタッチアウトとなり惜しい走者を殺した。六回にも一死三塁の好機があったが、後続無く惜敗した。

【壱岐】打安点

⑧西	3 1 0
⑥久田	3 2 0
⑤丸尾	1 0 0
①真鍋	3 0 0
②加藤	3 0 0
③市岡	2 1 1
H森山	1 0 0
⑨伊佐藤	2 0 0
④川上	2 0 0
⑦米倉	2 0 0

22 4 1

## 中村郁が完全試合

## 日野自、平戸クを圧倒

【一回戦】=大橋：第5試合= 振球犠盗残失

平戸クラブ	000 000 0	0	9	0	0	0	0	4
長崎日野自動車	101 011 X	4	3	7	2	4	10	0

【三】中村郁

【評】日野の中村郁が平戸から9三振を奪う絶妙の投球で一塁を一人も踏ませず完全試合を達成した。攻めてもやや制球に苦しむ相手投手から7四死球に4敵失などで小刻みに加点した。

日野は初回、小田が四球、筒井の一塁ゴロを相手もたつく間にそれぞれ進塁し井手の犠打で1点を先制。三回にも2本の安打や2四球で1点を追加した。

一方、平戸は立ち上がりから快調に飛ばす中村郁の投球に手が出ず、三回を除いて毎回三振を奪われるなど走者を一人も塁に出すことができなかった。

【平戸】打安点

⑤石田	2 0 0
H大野	1 0 0
④吉浦	3 0 0
⑥正木	3 0 0
③早田	2 0 0
①井手口	2 0 0
⑧高本	2 0 0
②9江田	2 0 0
⑦大賀	2 0 0
⑨宮田	2 0 0
2新地	0 0 0

21 0 0

【日野】打安点

⑦小田	3 0 0
⑥筒井	4 1 0
①中村郁	4 1 0
③井手	1 1 1
②岡田	3 0 0
⑤古里	3 0 0
⑨有川	1 0 0
②9中村義	1 1 1
⑧岩下	1 0 0
④石本	2 1 0

23 5 2

# 美津島前半で勝負

## 全田平反撃にもう一步

【一回戦】=三菱：第1試合=		振球犠盗残失									
美津島フェニックス	200 300 0	5	2	3	0	1	6	0	【三】		
全田平	000 011 0	2	2	2	0	2	5	1	江川		

【評】美津島が全田平・島本の立ち上がりを襲い、四球を間に平山、阿比留輝の安打で無死満塁の先制機を迎えた。ここで勝村の右前タイムリーが出て早くも2点を先取。四回には敵失に恵まれた二死一二塁から田中、平松の適時打で3点を加え勝利を不動のものにした。

全田平は美津島・吉野のうまいピッチングに前半を安打1本に抑えられ、五、六回に反撃の気配をみせたが各1点を返したのみだった。

美津島打線はミート打法に徹し左右に打ち分けるバッティングが光った。

【美津島】打安点	【全田平】打安点
⑦ 平山 3 2 0	⑧ 4 中村 4 0 0
⑤ 平松 3 1 1	④ 田川 2 0 0
③ 阿比留輝 3 1 0	9 江川 1 1 0
⑧ 石川 4 1 0	⑥ 坂本 3 1 0
④ 勝村 4 1 2	① 島本 2 0 0
① 吉野 3 1 0	⑦ 柴山 2 1 1
⑨ 阿比留三 3 1 0	③ 福井 3 0 0
② 津屋 3 0 0	3 朝長 0 0 0
⑥ 田中 3 1 2	⑨ 8 橋口 3 1 0
29 9 5	⑦ 近藤 2 0 1
	H 小島 1 0 0
	⑤ 阿比留 3 0 0
	26 4 2

大会二日目は大橋球場で二回戦4試合が行われ各試合とも熱戦を展開。第1試合の中興化成工業-三菱重工長崎は中興が前年度優勝し今回も優勝候補となっていた三菱を岩本の好投と打線の活躍で最小点差で破り準決勝へ勝ち進んだ。第2試合の電電大瀬戸-有明町クラブは今回初の延長戦となり、連盟規約の一死満塁制による得点差で争われ大瀬戸が1点を挙げ勝ち星を拾った。この試合では大瀬戸の網谷萬規雄選手

が大会第1号の本塁打を放った。第3試合の天満タクシー-日野自動車は平戸クラブを相手に完全試合をした日野の中村郁朗投手が3安打1点を許したものの好投。打線もチャンスに確実に得点し快勝。第4試合の奈良尾クラブ-美津島フェニックスも延長戦となり奈良尾が3点追加。その裏の美津島に1点しか許さず勝利をものにした。

(昭和53年10月22日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

# 中興、三菱を破る 岩本好投 永利が殊勲の二塁打

【中興】打安点
③ 福島 3 3 0
⑧ 田淵 3 0 0
⑤ 永利 3 1 2
① 岩本 3 2 0
⑥ 吉田 3 0 0
⑨ 国生 3 0 0
⑦ 尾野 2 0 0
② 田川 2 1 0
④ 志水 2 0 0
24 7 2

【二回戦】=大橋：第1試合=		振球犠盗残失									
中興化成工業	002 000 0	2	3	0	1	0	1	3	【二】福島2		
三菱重工長崎	000 100 0	1	4	3	1	1	6	0	永利		

【評】中興は三回、二死一二塁で永利が走者一掃の二塁打を放ち先制。四回に1点を返されたものの、その後のピンチを岩本の好投と野手の好守で脱し最小点差で三菱の追撃を振り切った。

初回、無死二塁の先制機を逸した中興は三回、この回先頭の田川が右前打で出塁。志水の投ゴロで二封されたが、福島は投前打で一二塁。二死後に永利が左中間に打ち返して二走者を還した。

三菱も初回到敵失などで無死一三塁と絶好の先制機があったが川上の右飛で三塁走者の離塁が早くアウトの宣告。四回に1点を返し、さらに五回にも二死一三塁の同点機を迎えたが、後続なく敗退した。

【三菱】打安点
⑧ 7 上内 3 0 0
④ 桜木 3 1 0
⑦ 1 川上 3 1 0
⑤ 橋本 2 0 0
① 9 奥園 3 0 0
② 増永 3 0 0
⑥ 浜口 3 1 1
⑨ 大村 1 0 0
1 豊田 0 0 0
8 井上 2 0 0
③ 吉田 2 0 0
25 3 1

# 大瀬戸、延長で勝つ 初回 網谷が大会第1号

【二回戦】=大橋：第2試合=		振球犠盗残失 (延長8回)									
電電大瀬戸	200 000 01	3	10	1	0	2	2	1	【本】網谷		
有明町クラブ	020 000 00	2	1	1	2	0	4	1	【二】高見		

【評】延長戦となり連盟規約で両チーム一死満塁制による決定戦の結果、大瀬戸が1点を挙げ幸運の勝ち星を拾った。大瀬戸は初回一死から平尾が中前打で出塁。相手捕手の凡ミスで二三盗、志良堂が倒れ二死となった後、網谷が金子の4球目を叩くと、球は左翼席で大きく弾み場外へ消える大会第1号の2点本塁打。

有明も負けてはいず二回先頭の吉田朝が敵失で生き続く松本は内野安打。吉田正が手堅く送って二三塁とし同点機を迎えた。高見の打球は左中間をワンバウンドでスタンドに入る二塁打となり二三塁走者相次いで生還した。その後は大瀬戸・林田、有明・金子の投げ合いで延長戦へ。

【大瀬戸】打安点	【有明町】打安点
⑤ 栄 3 2 0	⑦ 2 吉田浩 3 0 0
⑦ 平尾 3 1 0	① 金子 2 0 0
⑥ 志良堂 3 0 0	⑤ 竹之内 3 1 0
⑧ 網谷 2 1 2	⑨ 7 吉田朝 3 0 0
② 山本 3 0 0	⑥ 松本 3 1 0
⑨ 森 3 0 0	⑧ 吉田正 2 1 0
④ 渡守 3 0 0	③ 高見 3 1 2
① 林田 2 0 0	④ 長野 2 1 0
③ 榎木 2 0 0	② 中島 2 0 0
24 4 2	H 9 中島 1 0 0
	24 5 2

# 奈良尾、逆転勝ち 美津島 追加点奪えず

【奈良尾】打安点

⑧ 森	3	1	0
④ 金 崎	3	1	0
⑤ 津 田	4	0	0
⑥ 金 丸	4	0	0
① 平 田	3	1	0
⑦3 三 宅	1	0	1
②7 浜 山	3	2	1
③2 宮 崎	2	1	1
⑨ 浦 口	3	0	0
		26	6 3

【二回戦】=大橋：第4試合= 振球犠盗残失

奈良尾クラブ	010 002 03	6	1	4	1	2	7	0
美津島フェニックス	030 000 01	4	9	3	0	1	3	2

(延長8回)

【評】2点をリードされた奈良尾は六回3番から始まる好打順に3、4番が敵失で出塁し絶好の反撃機を迎えた。平田の一ゴロで、4番金丸が二封された後、三宅の二ゴロを野手が一塁送球の間に津田が還り、さらに浜山、宮崎の連打で平田も生還して同点として延長戦へ持ち込んだ。延長戦では奈良尾が3点取ったのに対し、美津島は1点どまりに終わった。

美津島は1点を取られた二回裏に3安打2四球など打者8人で3点を挙げ一気に逆転したが、その後は立ち直った奈良尾の平田を打ち込めず、逆に六回守備の乱れなどから同点においつかれた。

【美津島】打安点

⑦ 平 山	3	1	1
⑤ 平 松	2	0	0
③阿比留輝	3	0	0
⑧ 石 川	3	0	0
④ 勝 村	2	0	0
⑨阿比留三	3	0	0
① 吉 野	3	1	1
② 津 屋	2	0	0
⑥ 田 中	3	1	1
		24	3 3

# 日野、ソツない攻め 天満 先取点の1点だけ

【二回戦】=大橋：第3試合= 振球犠盗残失

天満タクシー	010 000 0	1	7	1	2	0	3	2
長崎日野自動車	001 012 X	4	6	2	1	1	5	0

【評】日野は前日完全試合を達成した中村郁が1点を許したものの天満打線を3安打に抑える好投を見せ、打線もチャンスには確実に得点するソツのなさで勝ち進んだ。半面、三回裏に後続の走者が前の走者を追い越し、アウトになるというハプニングもあった。

先制したのは天満。二回先頭の東賢が右中間に三塁打。続く下村の内野安打で還り先取点。その後は中村郁の投球にかわされ追加点を挙げられなかった。

日野は三回に2本の内野安打などで同点とし五回にも1点追加。さらに六回には2本の長短打や敵失などで2点を奪ってダメを押し前日に続いての快勝。



【天満】打安点

⑤ 山 田	3	0	0
⑦ 石 井	3	0	0
⑨ 高 橋	3	0	0
③ 東 賢	3	1	0
⑥ 下 村	3	1	1
⑧ 阿比留	2	0	0
8 山 川	0	0	0
④ 岩 橋	1	1	0
H 東 拓	1	0	0
② 野 崎	1	0	0
① 原 田	2	0	0
		22	3 1

【三】東賢  
【二】井手、古里

【日野】打安点

⑦ 小 田	2	1	0
⑥ 筒 井	2	0	0
H8 中村義	1	1	1
① 中村郁	3	0	0
③ 井 手	3	1	0
② 岡 田	3	0	0
⑤ 古 里	3	1	0
⑨ 有 川	2	0	0
⑧ 岩 下	1	0	0
6 武 次	1	0	0
④ 石 本	3	3	1
		24	7 2

6回裏、日野二死一三塁で一塁走者が二盗する間に三塁から有川がかえって3点目を挙げる

大会最終日は大橋球場で準決勝2試合と決勝戦が行われ、白熱したゲームを展開した。準決勝第1試合は中興化成工業が三回に福島の大会第2号本塁打で挙げた貴重な1点を連投の岩本とボックスの好守好投で守りきり電電大瀬戸に快勝。第2試合の奈良尾クラブー日野自動車戦は初回をはじめ再三のピンチを免れた奈良尾が最終回、唯一のチャンスをももの

して貴重な決勝点を挙げた。決勝戦は奈良尾が前半から疲れの見える中興化成の岩本をとらえ八回まで5-0とリードしたが、中興も最終回到打者8人で3点を返す反撃に出たものの、あと一歩及ばず奈良尾が逃げ切り念願の初優勝を遂げた。  
(昭和61年10月23日付けの長崎新聞より記事と写真は按捺)

# 福島が大会第2号 大瀬戸、好機に一発出ず

【準決勝】=大橋：第1試合= 振球犠盗残失

中興化成工業	001 000 0	1	4	2	1	1	6	0
電電大瀬戸	000 000 0	0	4	2	0	0	3	0

【本】福島

【中興】打安点

③ 福 島	4	1	1
⑧ 田 淵	2	1	0
⑤ 永 利	3	1	0
① 岩 本	3	1	0
⑥ 吉 田	3	0	0
⑨ 国 生	3	0	0
⑦ 尾 野	3	1	0
② 田 川	2	0	0
④ 志 水	2	0	0
		25	5 1

【評】中興が三回に挙げたトラの子の1点を守り切って決勝戦へ進んだ。中興は初回一死から中前打の田淵を一塁に置いて永利が二塁カバーに入る遊撃手の左にエンドランを決め一三塁。岩本の初球に永利が二盗し絶好の先制機を迎えたが、後続が平凡な二飛と三ゴロに倒れた。しかし三回一死から福島が左翼ポール際に入る貴重な1点を先取し最終的にはこれが決勝点となった。

一方大瀬戸は中興の岩本を打ちあぐみ内野へゴロを転がすばかり。三回には二死から2四球で一二塁の同点機が訪れたが後続が三振に倒れ得点はならず惜しくも涙をのんだ。

【大瀬戸】打安点

⑤ 栄	2	1	0
⑦ 平 尾	3	0	0
⑥ 志良堂	3	0	0
⑧ 網 谷	3	0	0
② 山 本	3	0	0
⑨ 森	3	0	0
④ 渡 守	2	0	0
① 林 田	2	0	0
③ 榎 木	1	0	0
		22	1 0

終回 貴重な1点

【準決勝】=大橋：第2試合= 振球犠盗残失

奈良尾クラブ	000 000 1	1	5	0	2	1	0	0	(三)中村郁
長崎日野自動車	000 000 0	0	7	2	0	0	5	0	(二)武次

【評】再三のピンチを切り抜けた奈良尾が最終回ワンチャンスに貴重な決勝点を挙げ日野を振り切った。

0-0で迎えた最終回、内野安打1本に抑えられていた奈良尾は1番からの好打順。ここで森が左前打で出塁し二盗に成功。金崎が手堅く送って一死三塁。外野飛球で1点の場面に3番津田が中堅へ飛球を打ち上げ三塁から森が生還した。

日野は初回二死ながら中村郁が右翼越三塁打。動揺した平田から2四球を選び満塁となる先制機があったが、次打者が三振に倒れた。五回の一死二塁も得点に至らなかった。平田と中村郁の好投が光ったが、ピンチを守り切った奈良尾の粘り勝ちとなった。

【奈良尾】打安点	【日野】打安点
⑧ 森 3 1 0	⑦ 小 田 3 0 0
④ 金 崎 2 1 0	⑥ 筒 井 2 0 0
⑤ 津 田 2 0 1	H4 石 本 1 0 0
⑥ 金 丸 3 0 0	① 中 村 郁 3 2 0
① 平 田 2 0 0	③ 井 手 1 0 0
③ 三 宅 2 0 0	H3 木 村 1 0 0
⑦ 浜 山 2 0 0	② 岡 田 2 0 0
② 宮 崎 2 0 0	⑤ 古 里 3 0 0
⑨ 浦 口 2 0 0	⑨ 有 川 3 0 0
20 2 1	⑧ 岩 下 2 0 0
	H 中 村 義 1 0 0
	④⑥ 武 次 2 1 0
	24 3 0

奈良尾クの粘り勝ち

連投の岩本打ち崩す

# 奈良尾ク、念願の初優勝

## 中興、終回の猛反撃及ばず 三宅、平田で逃げ切る

【決勝戦】 振球犠盗残失

中興化成工業	000 000 003	3	7	2	2	3	9	3	【二】岩本
奈良尾クラブ	001 102 01X	5	1	4	1	2	9	5	

【評】八回終了時で5-0とリードした奈良尾の楽勝かと思われたが、中興が最終回到打者8人を繰り出す猛反撃をみせて2点差まで詰め寄り優勝戦にふさわしい攻防戦を展開。

先制したのは奈良尾。三回連投の疲れが見える岩本を攻め二死満塁で金丸が四球を選んで1点先取。四回にも1点追加し六回には一死後に浦口が敵失出塁。遊飛のあと金崎、津田の連打で2点を挙げ点差を広げた。

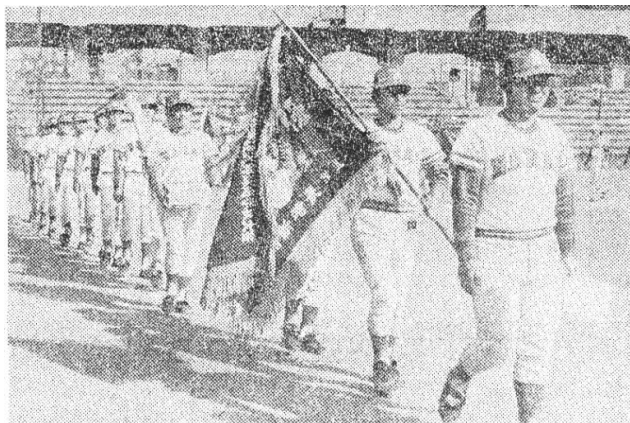
中興は奈良尾の三宅、平田両左腕に八回まで散發3安打に抑えられ、5点差で迎えた九回一死後に国生が内野安打。投手牽制悪送球で三進し尾野の中前打で1点。続く田川の安打と死球で満塁となり福島投手の投ゴロや田淵の内野安打などでさらに2点を返し、二死ながら一三塁の好機が続いたが永利が左飛に倒れ万事休した。

試合終了後、表彰式が行われ、松浦継義県軟式野球連盟会長から優勝旗、楯、賞状が奈良尾クラブに。中興化成にも準優勝旗などが贈られた。松浦会長は両チームの健闘をねぎらうとともに、「離島チームの優勝は今後、他の郡部チームの発展にも大いに励みになると思う。来年も精進して欲しい」と講評。奈良尾クラブを先頭にダイヤモンドを一周して三日間にわたる熱戦の幕を閉じた。



6回の奈良尾は二死二塁で津田が左前適時打を放ち二走の金崎が還り4点目。

【中興】打安点	【奈良尾】打安点
③ 福 島 5 0 1	⑧ 森 4 1 1
⑧ 田 淵 5 1 1	④ 金 崎 4 1 2
⑤ 永 利 5 0 0	⑤ 津 田 5 1 1
① 岩 本 4 1 0	⑥ 金 丸 3 0 1
⑥ 吉 田 4 1 0	③① 平 田 4 2 0
⑨ 国 生 2 1 0	⑦ 浜 山 3 0 0
⑦ 尾 野 4 1 1	①③ 三 宅 4 1 0
② 田 川 4 2 0	② 宮 崎 4 2 0
④ 志 水 2 0 0	⑨ 本 浦 1 0 0
35 7 3	R9 浦 口 2 1 0
	34 9 5



◇初村信・奈良尾クラブ監督の話◇

五度目の出場場で初優勝できてとてもうれしい。打倒三菱・日野を目指した甲斐があり苦戦の末、日野に勝つことができた。チームの和が勝利の原因と思う。来年を目指しこれからまた練習に励む。

昭和53年の各大会戦績

天皇賜杯第33回全日本軟式野球大会

(8. 21～・静岡県静岡市ほか)

- 【一】 親和銀行 6-0 専売東北支社(宮城)
- 【二】    "       5-3 安来ビクトリーズ(島根)
- 【三】    "       3-2 東芝三重(三重)
- 【準々】  "       8-2 和歌山県農協組合連合会
- 【準】    "       0-3 ライト工業(東京)

◇天皇賜杯全日本でベスト4の親和銀行◇



(監督)曾木 毅 (主将)香田 博 宮本博久  
 高藤文明 松尾敏正 辻 章 坂井俊彦  
 小森秀敏 石田千二 竹山良次 岩佐光 小栗辰夫  
 古川一彦 一ノ間繁則 山下耕三 村竹博志

第33回長野国体【28チーム】10. 16～

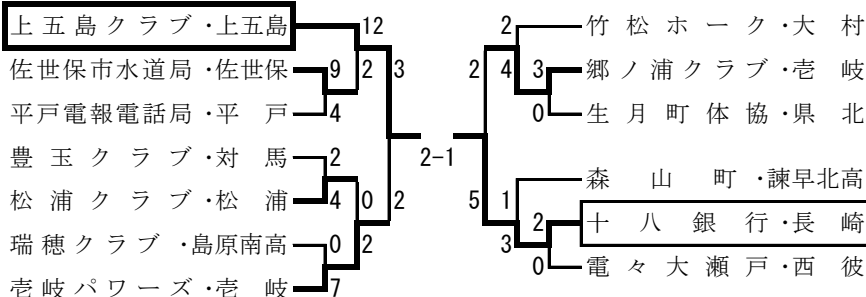
- 【一】 親和銀行 2-4 竹田病院野球クラブ(福島)

国体県予選会(7. 22～島原・14チーム)

- 【二】 有明町クラブ 7-0 御厨クラブ
- 三菱重工長崎 3-2 西海クラブ
- 朝長時計店 7-5 石田ジャガーズ
- 親和銀行 3-1 ブローズ
- 【代表】有明町クラブ 3-0 三菱重工長崎
- 親和銀行 4-0 朝長時計店

◇有明町クラブと親和銀行が西九州大会へ◇

高松宮賜杯第22回2部・県予選会(7. 2～彦岐)



高松宮賜杯1部・県予選会の詳細は不明。1部、2部とも九州で敗退

第30回県民体育大会(11. 4～:佐世保)

